

## 1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称：アジ化ナトリウム

製品名：ケミルミ ACS 較正剤 E Calibrator E (ECOR), 2 pack

製品コード：04634452

会社名：シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社

住所：〒141-8673 東京都品川区東五反田 3-20-14

電話番号：03-3537-3939

作成日：2009/06/15

改定番号：2.0

## 2. 危険有害性の要約

絵表示  
又はシンボル



注意喚起語 危険

危険有害性情報 飲み込むと生命に危険（経口）  
皮膚に接触すると生命に危険（経皮）  
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷  
重篤な眼の損傷  
循環器系の障害  
長期又は反復ばく露による循環器系、肝臓の障害

注意書き

安全対策 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
保護眼鏡、保護面を着用すること。  
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。  
眼、皮膚又は衣類に付けないこと。  
粉じんを吸入しないこと。  
取扱い後はよく手を洗うこと。

救急処置 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。  
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。  
衣類にかかった場合：直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り

除くこと。  
 汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。  
 ばく露又はその懸念がある場合：医師の診断、手当てを受けること。  
 飲み込んだ場合：直ちに医師の診断、手当てを受けること。口をすすぐこと。  
 眼に入った場合：直ちに医師の診断、手当てを受けること。  
 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。  
 吸入した場合：直ちに医師の診断、手当てを受けること。  
 皮膚に付着した場合：直ちに医師の診断、手当てを受けること。

保管 施錠して保管すること。

廃棄 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

### 3. 組成及び成分情報

化学名：

CAS 登録番号 /EINECS 登録番号	化学名 化学式	量	EU 分類 (67/548/EEC):
26628-22-8 / 247-852-1	アジ化ナトリウム NaN <sub>3</sub>	0.3%	N, T+, R28, R32, R50/53

EU 分類の追加情報はセクション 16 を参照

提供者の現在の知識の範囲および該当する濃度では、本製品の成分の中には健康または環境に対して有害危険性であると分類されるためこのセクションで報告が義務づけられている成分は含まれていません。

職業性暴露限界がある場合、セクション8に記載されている。

ヒト：飲み込むと有害。接触すると刺激を引き起こすことがある。

環境：この製品は魚に毒性を示すアジ化ナトリウムを 0.3% 含んでいる。

(注記:この製品はヒト由来の物質を含んでおり、バイオハザード及び/または使用地域で規制対象となる医療廃棄物と考えられることがある。地域の環境関連の規制を確認する。)

EU 分類 (1999/45/EC) : Xn - 有害

EU のリスクフレーズおよび安全フレーズ：R22, R28

### 4. 応急措置

緊急応急処置：直ちに医師に電話する。最も近い ER (救急救命室)への移送を手配する。

医師を待つ間、または ER へ移送中：

**吸入した場合：**暴露した被災者を新鮮な空気のある場所へ移動させる。被災者を暖かく安静にしておく。呼吸していない場合、呼吸が不規則な場合、あるいは呼吸停止が起きた場合には、適切な訓練を受けた者が人工呼吸あるいは酸素吸入を行う。

**飲み込んだ場合：**被害者の意識があれば速やかに水で口を洗浄し、体内の物質を希釈するためにコップ1、2杯の水もしくは牛乳を飲ませる。暴露した被災者を新鮮な空気のある場所へ移動させる。被災者を暖かく安静にしておく。速やかに医師の診察を受ける。医師の指示がない限り吐かせてはならない。

**皮膚に付着した場合：**汚染したすべての衣服を直ちに脱ぐ。石鹼と十分な量の水で洗い落とす。症状があれば医師の診察を受ける。再使用前に汚染した衣服を洗う。

**目に入った場合：**すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。少なくとも15分間洗い流し続ける。眼科医の診察を受ける。

健康への影響と症状の詳細については、セクション11を参照。

## 5. 火災時の措置

### 消火媒体

**適切：**粉末化学消火剤、炭酸ガス、ウォータースプレー、泡消化剤を使用する。

**不適切：**認知済みのものは無し。

**化学物質に起因する特定の危険有害性：**特定の火災爆発の危険有害性は無い。

**有害な熱分解生成物：**明確なデータは無い。

**消火を行う者に対する注意事項：**火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

**消防士用の特殊保護具：**消防士は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェイス部分を備えた自給式の呼吸器具（SCBA）を装着しなければならない。

## 6. 漏出時の措置

**人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：**

人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺地域の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。適切な個人保護具を使用すること（セクション8を参照）。

**環境に対する注意事項：**

漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染（排水、水路、土壌または大気）を起したときは、関係する行政当局に報告する。

### 封じ込めおよび洗浄に関する方法および材料

**少量流出：**

漏出区域から容器を移動する。物質を吸い取るか拭き取り、ラベル表示した廃棄容器に収容する。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

**漏出した場合にとるべき措置：**

保護手袋、保護衣を着用する。埃をさけて、掃き掃除をし、生物的有害物質容器に入れる。湿ったペーパータオルでその場所をふき取り、生物的有害物質容器に廃棄する。10%の漂白溶液で漏出した場所を消毒する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取り扱い：**
- 適切な個人保護具を使用すること（セクション8を参照）。
  - 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での 飲食および喫煙は厳禁。
  - 作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。
  - 眼、皮膚および衣類に接触しないようにする。
  - ヒト血清サンプルとして取り扱う。
  - 埃の吸入を避ける。
- 保管：**
- 現地法に従い、製品ラベルに記載されている温度及び条件で保管する。
  - 元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を防ぎ、混合禁止物質（セクション10を参照）および飲食物から離して保存する。
  - 使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。

## 8. 暴露防止及び保護措置

化学名	暴露限界値
アジ化ナトリウム	0.29 mg/m3 TLV-天井値

**推奨されるモニター措置：**当製品が暴露限界を有する物質を含む場合、個人、作業場の空気、あるいは生物学的なモニタリングを行い、換気等の管理手段の有効性、および呼吸器保護具を使用する必要性、あるいはそのいずれかを明らかにする必要がある。

**適切な技術的管理：**特別な換気設備は必要ない。全体換気装置は作業者が暴露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。もしこの製品が暴露限界を有する成分を含有する場合は、工程の密閉、工程ごとの排気設備、あるいはその他の工程管理対策を用いて作業者の空気中の汚染物質への暴露を、推奨あるいは規制された限界以下に保つこと。

**環境暴露管理：**換気装置および作業工程装置からの排出物を検査し、環境保護の法律規制の要件に適合していることを確認しなければならない。場合によっては排出物を許容レベル以下に下げのために煙霧清浄機やフィルター、あるいは行程装置の技術的改良が必要になることもある。

### 個人の保護措置

**衛生措置：**化学製品の取り扱い後は、食事、喫煙およびトイレの使用前および作業時間の最後に、必ず手、前腕および顔を洗う。汚染された可能性のある衣類を取り除く際には、適切な技術を用いる。汚染された衣類は、再着用の前に洗濯す

る。作業場所の近くに洗眼スタンドと安全シャワーが設置されていることを確認する。

**呼吸器の保護具**：リスク評価により必要性が示されたときは、承認された基準に合格した、身体に良く合った空気清浄機能付きまたは給気式の呼吸保護具を使用する。使用する呼吸保護具は、既知もしくは予測される暴露量、製品の危険有害性、選択される呼吸保護具の安全作動限度に基づいて選択しなければならない。

**手の保護具**：リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。

**目の保護具**：リスク評価によって必要とされるときは、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。コンタクトレンズの装着は避ける。

**皮膚の保護**：作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならない。さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。

**その他の保護具**：実験着又は前掛けを推奨。

## 9. 物理的及び化学的性質

**外観**：黄色がかった凍結乾燥粉末

**臭い**：無刺激臭

**pH**：N/A

**融点・凝固点**：N/A

**沸点、初留点及び沸騰範囲**：N/A

**引火点**：なし

**蒸気圧**：N/A

**比重**：N/A

**溶解度**：可溶 (H<sub>2</sub>O)

**燃焼範囲**：LEL:適用外 UEL:適用外

N/A = 適用なし N/D = 測定されていない

## 10. 安定性及び反応性

**安定性**：安定

**避けるべき条件**：明確なデータは無い。

**混触危険物質**：金属 (アルミニウム、水銀、銅、鉛、亜鉛) および酸との接触を避ける。

**危険有害性分解物質**：アジ化ナトリウムは重金属と反応して爆発性のアジ化物を生成する可能性がある。

危険有害重合：起こらない。

危険な反応の可能性：通常の貯蔵および使用条件下で、有害な反応は起こらない。

## 11. 有害性情報

過度露出による慢性的影響：確認されていないが、アミノグリコシド 0.16%、硫酸ゲンタマイシンを含有する。

発がん性：発がん物質またはその疑いがあるとして記載されている成分はない。

暴露による健康状態の悪化：現在知られていない。

### 急性毒性

吸入：ダストの吸入は呼吸器官の刺激を引き起こすことがあり、摂取の場合と類似の全身作用を引き起こすことがある。

摂取：ヒト血清または他のヒト由来の物質を含む。アジ化ナトリウムの摂取は、息切れ、むかつき、おう吐、不安、下痢、低血圧、高血圧および虚脱状態を引き起こすと報告されている。動物に対してきわめて毒性が強いと評価されている。

皮膚腐食性・刺激性：軽度の刺激を引き起こすことがある。長期間、広範囲への皮膚接触により吸収され、摂取時と類似した全身的な症状が現れることがある。

眼に対する重篤な損傷・刺激性：刺激を引き起こすことがある。

急性毒性値：アジ化ナトリウム: LD50 経口 ラット: 27 mg/kg; LD50 経皮 ウサギ: 20 mg/kg

## 12. 環境影響情報

この混合物の生態への影響は確認されていない。アジ化ナトリウムのミジンコの 15°C における LC50 は 4.2 mg/L/96 hr であり、ニジマスでは 13°C, Wt1.4 G. において 0.8-1.6 mg/L/96 hr と報告されている。

## 13. 廃棄上の注意

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装：容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

## 14. 輸送上の注意

郵送品目名称：規制されていない

国連番号：N/A

危険物分類及び包装等級：規制されていない

ラベル：N/A

梱包指示 (旅客航空機) : N/A

梱包指示 (貨物航空機) : N/A

ユニット量 : 2 g

一次容器のタイプ : 10m L 琥珀色ガラス

販売ユニット : 4 バイアル/1 キット

## 15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法	該当せず
労働安全衛生法 [名称等表示]	名称等を通知すべき有害物 : 該当せず
労働安全衛生法 [名称等表示]	表示 : 該当せず
毒物及び劇物取締法	毒物
消防法 [危険物]	危険物第 5 類
船舶安全法	毒物類・毒物
航空法	毒物類・毒物

**SARA 311/312:** 危険有害性区分セクション報告: 急性健康障害

**カリフォルニア州プロポジション65:** この製品はカリフォルニア州で生殖毒性 (先天異常) あるとして知られている下記の物質を含んでいる: アミノグリコシド - ゲンタマイシン 0.16%

**カナダ WHMIS 分類:** 医療機器は WHMIS から免除されている。

**EU 分類 (1999/45/EC) :**



**EU のリスクフレーズおよび安全フレーズ :**

R22 - 飲み込むと有害

RS28 - 皮膚に接触した場合、十分な水で直ちに洗う。

## 16. その他の情報

HMIS の危険有害等級	
健康	1
火災	0
反応性	0
個人保護措置	C
	4 極めて危険。 3 非常に危険。 2 中等度危険。 1 軽度危険。 0 最低度危険。 n*アスタリスクは重大かつ慢性的な健康への影響を示す

---

**参考のためのリスクフレーズ(セクション2および3参照) :**

N - 環境にとって危険

T+ - きわめて有毒

R28 - 飲み込むと きわめて有毒

R32 - 酸と接触すると 毒性の強いガスを発生

R50/53 - 水生生物に きわめて有毒であり、水生環境に長期の影響を与えることがある。

警告- 危険性のある物質

ヒト全血、血漿または血清から製造された製品は、感染性のあるものとしてGLPに従い取り扱う。

製品に使用した血液は、ドナーごとに FDA で承認された測定キットで試験し、抗 HIV 抗体と HBV 表面抗原に陰性であった（繰り返し陽性でなかった）。しかしながら、ヒト T リンパ球向性ウイルスタイプ III (HIV)、HBV 及びその他の感染症原因物を特定できる測定キットは存在しないので、米国 CDC および NIH 発行の Biosafety in Microbiological and Biomedical Laboratories (1984 年)が推奨する生物安全性レベル 2 に従い取り扱う。

アジ化ナトリウムを含む試薬が多量に下水管に廃棄された場合、蓄積し、銅または鉛と金属アジドを形成することがある。これにより爆発の危険が生じる可能性がある。製品詳細情報または「安全管理 No. CDC-22 (米国疾病管理センター) アジド塩除去のための実験室排水管の除染」を参照。

本化学物質安全性データシートの記述は、改定日時点で Siemens Healthcare Diagnostics の専門家の見解であり、各種文献等から得られた情報に基づいて作成しています。しかしながら必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、本製品の取扱いには充分注意してください。また、ここに含まれる情報は、いかなる保証をなすものではありません。本製品を使用される際には、各施設毎にその用途・用法に適した安全対策を実施してください。